

2016年3月18日

## 音楽情報誌『CD&DLで一た』発表。 まもなく開花！「さくらソング」ランキング2016。 ～1位は「さくら」森山直太朗、2位は「さくら」ケツメイシ～

KADOKAWAの音楽情報誌『CD&DLで一た』（編集長：松林大介）は、春の訪れとともに開花する桜のシーズンにあわせて、10～30代の男女を対象とした、「さくらソング」のランキングを発表します。（調査期間：2016年2月22日～2月23日）

### ●「さくら（桜）」と聞いて思い浮かべる、思い出の「さくらソング」は？ 総合ランキングTOP20

設問：「さくら（桜）」と聞いて思い浮かべる、あなたの思い出の「さくらソング」を1曲教えてください。  
※曲名とアーティスト名、またその理由やエピソードもあわせて教えてください。

回答者数：4326人

	曲名	アーティスト名
1	さくら	森山直太朗
2	さくら	ケツメイシ
3	桜坂	福山雅治
4	桜	コブクロ
5	SAKURA	いきものがかり
6	サクラ咲ケ	嵐
7	桜色舞うころ	中島美嘉
8	桜ノ雨	absorb feat.初音ミク
9	さくらガール	NEWS
10	SAKURA ドロップス	宇多田ヒカル
11	桜の時	aiko
12	Sakura	レミオロメン
13	3月9日	レミオロメン
14	桜	川本真琴
15	千本桜	黒うさP feat.初音ミク
16	桜ナイトフィーバー	KAN、こぶしファクトリー
17	桜	河口恭吾
18	SAKURA	175R
19	Sakura	嵐
20	CHE.R.RY	YUI

## 【今回の調査結果について】

2016年は例年よりもさくらの開花が早いと予想されています。

みなさん、お花見の準備はもう進めていますか？

音楽情報誌『CD&DLで一た』では、さくらの開花シーズンにあわせて、今年も「さくらソング」ランキングを発表します。今回もポピュラー・ミュージックを対象に、10～30代の男女を対象とした調査を行いました。

総合ランキング1位～6位は、順位含め昨年と変わらない鉄板のランキングとなりました。

第1位は「さくら」(森山直太郎)です。男女世代を問わず、幅広い支持を集めました。

“特に理由はないがさくらと言えばこの曲だと思う”(19歳・男性)、“子供ながらに感銘を受けていまだに心に残っているから”(20歳・男性)、“とても美しい曲なので”(38歳・女性)など、たくさんのコメントが寄せられました。

3年連続第1位と、毎年多くの人に選ばれる名曲だけに、全体的なコメントの傾向として、“特に理由はないが”としつつも、“さくらと聞いて真っ先に思い浮かべる”人が多いことが特徴的でした。また、楽曲の魅力や歌声の美しさを挙げる声が多いのも、この曲の素晴らしいところですよ。

第2位は、特に20～30代男女の得票を集めた、「さくら」(ケツメイシ)です。

男女問わずPVの印象に関するコメントが多かったのですが、中には“PVの鈴木えみのかわいさに唖然とし、自分のふがいなさを感じた”(26歳・女性)、“鈴木えみがこの世のものとは思えないかわいさで、この曲を聴くだけでドキッとするようになった”(27歳・男性)といった声も！ほかに“曲調が好きだから”(34歳・女性)など、歌詞や曲のテンポ・リズムを評価するコメントも寄せられました。

第3位は「桜坂」(福山雅治)です。30代を中心に、女性票を多数獲得しました。

“切なくも爽やかさのあるところが好き”(28歳・男性)など楽曲の魅力や美しさを挙げる声とともに、“好きな人が歌ってくれた”(23歳・女性)、“当時付き合っていた人といつも聴いていた”(32歳・女性)、“主人と付き合っていた頃、曲の舞台となった桜坂をデートで見に行った”(38歳・女性)など、女性からの実体験に基づいた思い出が多く寄せられました。

以下、第4位は「桜」(コブクロ)、第5位は「SAKURA」(いきものがかり)、第6位は「サクラ咲ケ」(嵐)となっています。

そのほか、今回新しくランクインした曲の中でピックアップしたいのが、第16位の「桜ナイトフィーバー」です。もともとはシンガーソングライターのKANが昨年リリースした楽曲ですが、人気急上昇中のアイドルグループ・こぶしファクトリーがカバーして、今年2月にリリースされました。“ライブでこの曲を聴いた時、初めて聴いた気がしなかった。それぐらい頭に入る曲”(17歳・女性)といったコメントにもあるとおり、まさに王道路線の楽曲と言えるでしょう。切ないイメージの曲調が多い「さくらソング」の中で、ディスコファンク調のパーティーチューンとなっているのも印象的ですね。

さて、今回の「さくらソング」ランキングはいかがでしたでしょうか。

語り継がれる名曲も、新しく世に出たばかりの「桜ナイトフィーバー」のような作品も、それぞれの想いにあわせて、ぜひ今年のさくらを楽しんでいただきたいと思います。

## 【調査概要】

調査対象：全国47都道府県の10代から30代までの男女

回答者数：4326人(男性1971人、女性2355人)

調査手法：大規模ユーザーリサーチシステム『eb-i』によるインターネット調査

調査期間：2016年2月22日～2月23日

## 【eb-iとは】

『eb-i(Entertainment Business Insight)』は、カドカワ株式会社が週単位で継続して行っている、エンターテインメント分野の消費動向調査です。保有している全国20万モニターから週次で1万超を回収し、エンターテインメント分野の実態を調査・分析しています。

## 【『CD&DLで一た』について】

創刊29年目となる、“音楽がもっと好きになる”音楽情報誌(奇数月14日発売)。J-POPを中心としたアーティストのロングインタビューやコラムなど、様々なコンテンツを取り扱っています。



3月14日発売の『CD&DLで一た』4月号では、Silent Sirenと加藤ミリヤをカバーに迎えます。今回も盛りだくさんの内容でお届けいたします！

### 主な内容

◇MAIN TOPIIC: 沸点～ステージの上で熱くなる瞬間～  
Silent Siren、ソナーポケット、UVERworld、加藤ミリヤ、LiSA、sukekiyo、ファンキー加藤、SPYAIR、flumpool、高橋優、KEYTALK、MERRY、LoVendoЯ、Aldious、BLUE ENCOUNTらが、それぞれの“ステージの上で熱くなる瞬間”について語ってくれました。  
必読です！

◇SPECIAL FEATURE:  
BABYMETAL、私立恵比寿中学

◇イチオシ記事:  
・ロングインタビュー  
ブレイク前夜を振り返る 三浦大知  
アイドルリーダー論 磯野莉音(さくら学院)

## 『CD&DLで一た』4月号

価格:890円

付録: Silent Siren(両面)、加藤ミリヤ×ソナーポケット2大ポスター

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社KADOKAWA  
エンターブレイン広報担当

<http://www.enterbrain.co.jp/>